



2023年
じぞうもじカレンダー

書家 夕深(ゆうみ)



コロナウイルスの影響を受けるようになつてから三年になりました。いまだにその勢いは収まりませんが、人々がこれまで繋いできた歴史を今まで一つ乗り越えようとしているのだと思ひます。その上、地震や水害などが起ころるたびに、どのように生きていくべきかを

問われているようです。2023年じぞうもじカレンダーは「生きる」「いのち」をテーマに制作してみました。月を追うごとに、その思いが少しでも皆様に伝わればうれしく思います。

2023年カレンダー

再び、じぞうもじとは

NO.21
2022年9月発行
発行者
じぞうもじ工房
983-0011
仙台市宮城野区栄
2-6-15-1
問い合わせ先
090-6221-6611

「じぞうもじ」は2010年に商標登録いたしました。文字の中にお地蔵様を描くことで文字の意味を強調したり、伝えたい思いをより一層引き立たせてくれます。そんな書を発信し始めた頃、2011年3月に東日本大震災が発生しました。そして、多くのボランティアの方々が現地に駆け付けました。私には何ができるだろうかと考え、被災された方がご希望される「じぞうもじ」を書くことにしました。着の身着のままで避難所にいらした方々へ「希望」や「絆」「ご家族の名前」と様々な文字を書きました。書き終えた「じぞうもじ」を手渡すと「これですがるものことができた」と仰りながら胸に抱きしめていかれた

じぞうもじ展

じぞうもじ展

となりました。文字で人に寄り添うことができると感じたのが、このボランティアがきっかけでもありました。少しでもお役に立ちたいという思いが「じぞうもじ」の中に描かれるお地蔵様の雰囲気になつていつたのかもしれません。これからも、寄り添う「じぞうもじ」で多くの人とのご縁を大切にしていきたいと思い

女性がおりました。。住む
場所を流され、ご家族も見つ
からない状況の中で、嗚咽
(おえつ)と共に発せられ
た言葉を今も忘れません。
それ以来毎年石巻へ3月1
日に手書きのボランティ
アへ出かけ今年で12回目

お客様の中には、大切な方への贈り物として「文字を贈りたい」という方が多くいらっしゃいます。ご結婚やお子様のお誕生、退職記念など様々な記念日に贈られます。お名前以外にも、贈り主の奇想天外なアイデアに私も感嘆する事がしばしばあります。アントニオ

文字の贈り物

